

兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 6号)

2021年12月 2日発行
 兵庫のみ研究所

大型珪藻コシノディスカスが海域全体に発生していましたが、発生量は前回調査(11/25)と比較して大幅に減少しています。窒素は地先漁場で概ね $2 \mu\text{g-at/L}$ 前後、沖合漁場で $1 \mu\text{g-at/L}$ 前後の値でした。

(珪藻)

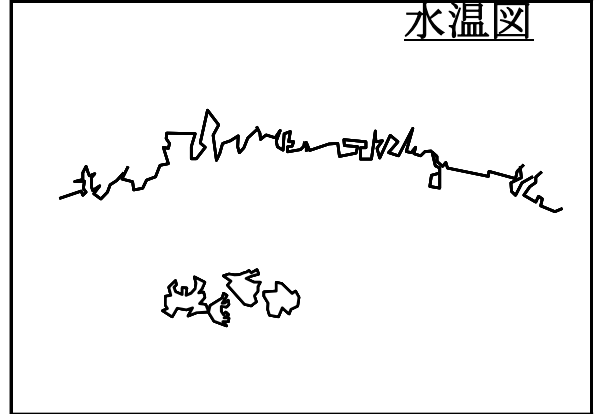
各海域のコシノディスカス発生量(海水1Lあたり)は以下の通り。

地先漁場: 50~300細胞 (前回値: 1000~1900細胞)

沖合漁場: 50~150細胞 (前回値: 700~2500細胞)

コシノディスカスの色素は前回調査(11/25)と比較して、沖合漁場では薄くなっており、活力は低下していると思われる。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	0.7	2.5	5.3	2.2
	リン	0.29	0.55	0.58	0.62
家島・坊勢	窒素	1.3	1.1	6.0	2.7
	リン	0.38	0.49	0.70	0.67

(11/25) ※西播地先は赤穂を除く (12/2)

栄養塩(窒素) 図

2021年12月 2日調査

